サンバレー JB-320LM
300B/2A3コンパチブル シングルパワーアンプ

標準キット　140,400円（税・送料共）

「初心者向けアンプキットを作ってみたいが，音を犠牲にした単純化はいやだ」，「できるだけいろいろな真空管の音を試したい」，「安っぽいデザインのアンプはリスニングルームに置きたくない」…というよくばりなユーザーに格好なシングルアンプキット．同社の中心的シリーズ「Jewelry Box」の最新機種だ．

最大の特徴は，真空管のさまざまな差し換えができること．出力管は300Bと2A3がスイッチによる切り換えで，初段の6C6はプリント基板上の切り換えで310Aに変更できる．さらにドライブ段の6V6はそのままEL34，6L6に差し換えができる．ただし，シャシー孔のサイズによる制限のため，外径38mm未満のものしか使えないことに注意しよう．

そのため，標準キットには6C6が２本しか付属していない．これはいわゆる「ラジオ球」である6C6が再生産されておらず，ヴィンテージ品しかないからだろう．残りの真空管はユーザーの好みと予算で選択する．もちろん，メーカー推奨の真空管をセットした「300Bフルキット（181,440円）」と「2A3フルキット（170,640円）」も用意されている．完成品は300Bが213,840円，2A3が203,040円（価格はいずれも税・送料共）．

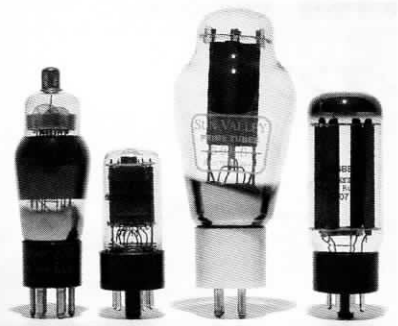
梱包を開けてみると，すでに完成機のような状態に驚く．というのは，本機は複雑な入力切り換え，真空管切り換え，高圧を扱う電源部などはすでに組み立てと動作確認が済んでおり，トランスなどへの配線もほぼ完了している状態で出荷されているからだ．

ユーザーが製作するのは，電圧増幅回路のプリント基板と基板への結線，そして出力段の配線のみ．ユーザーの「仕事」は少なく見えるが，実は（電源部を除いて）アンプの主要部はキッチリとユーザーの手に委ねられている．このあたりのけじめの付け方は，実にキット専業メーカーらしい．

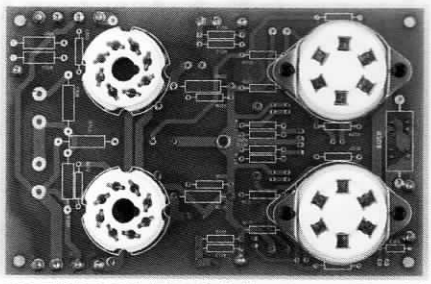
購入時のシャシー内部．中央の電圧増幅回路基板とその周囲（出力段含む）以外は組み立て・動作確認済み

●メーカー発表の主な仕様
使用真空管：6C6（または310A）×2，6V6GT（またはEL34，6L6）×2，300B（または2A3）×2，5U4G×1（本文参照）
入力：ライン４系統（入力４はボリュームパス）
出力：5W＋5W（2A3），8W＋8W（300B）
周波数特性：15Hz～50kHz（−3dB，1W）
NFB量：0dB，3dB，6dB
スピーカーインピーダンス：4Ω/8Ω（２系統）
ゲイン：27dB（NFBスイッチ２のとき）
外形寸法：W350×D330×H245mm（突起部含む）
重量：21kg

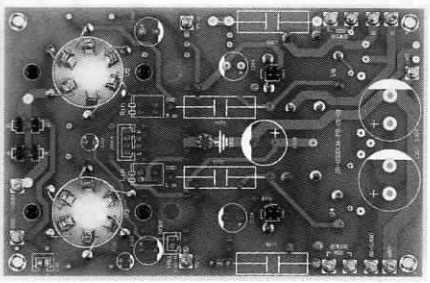
●問い合わせ先
ザ・キット屋　株式会社サンバレー
〒448-0844　愛知県刈谷市広小路4-201
TEL0566-24-6881
http://www.kit-ya.jp



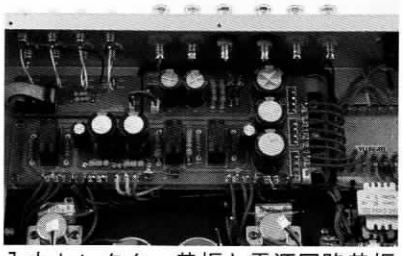
取材機に添付されていた真空管．左から6C6（マルコーニ），6V6GT（エレクトロ・ハーモニックス），300B（サンバレーオリジナル），5U4GB（エレクトロ・ハーモニックス）．真空管については本文参照



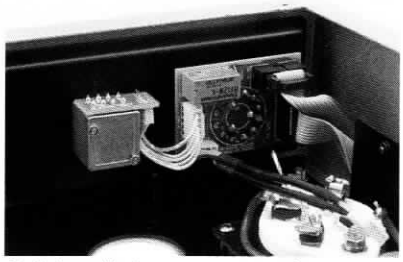
電圧増幅部基板の真空管ソケット取り付け面．ソケットは取り付け済み



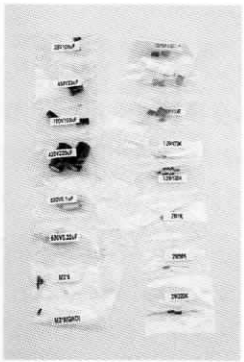
電圧増幅部基板の裏面にもパーツを取り付ける．わかりやすいシルク印刷が施されているので，取り付け面を間違えることはないだろう



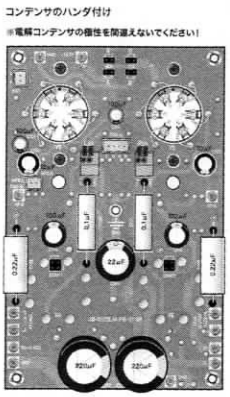
入力セレクター基板と電源回路基板．電源回路にリレーがあるのは，300Bと2A3のヒーター切り換えのため



入力切り換えスイッチとボリューム．この部分も組み立て済み



CR類，小物パーツは小分けパックされたうえに，パーツ名が表示されている



A3判12ページの組み立てマニュアルにはフルカラーの実体図が掲載されている．基板のパーツ配置図の一例

300Bと2A3の切り換えスイッチ．真空管が差さっていると指が届かない位置に設置されている

シャシー天板上のNFB量切り換えスイッチ．本機の「売り」のひとつだ

バナナプラグでワンタッチ着脱できるボンネットが付属している

回路は，５極管接続の初段6C6に続いて，6V6の３極管接続でさらに増幅した信号で出力管300Bまたは2A3をスイングする．出力段は自己バイアス式．300Bと2A3の切り換えスイッチで，バイアス抵抗とヒーター電圧が切り換わる．電源基板上に目立つリレー群は，それらの切り換えのためのもの．

同社のアンプとしては新搭載の機能が「NFB量の切り換え」だ．天板上のロータリースイッチで，NFB量を３段階に切り換える．直熱３極管は無帰還が基本とはいうものの，スピーカーやソース，真空管のブランドなどによって使い分けてみるのは興味深い．長期間使用しても飽きさせない工夫だろう．

同社の組み立てマニュアルは長年の経験に基づくわかりやすいものであることは周知の事実だろう．キットには，A3判12ページフルカラーというていねいなマニュアルが付属している．また，完成品には，「使用マニュアル」がついており，真空管差し替えの手引きと回路図が掲載されている．完成品にも回路図が付いているのはありがたい．

CR類やネジなどは小分けされて品名が記されているので，製作時に間違えることはないだろう．基板へのパーツ実装に難しそうなところは見当たらないが，基板の表裏を間違えないように．これが意外に多いミスなので，マニュアルと基板のシルク印刷とをよく見て作業しよう．

300Bと2A3の切り換えスイッチは，天板上の一見すると変なところに設けられている．しかし，これは切り換えスイッチを不用意に動かして真空管を壊さないための配慮で，よほど細い指でないかぎり，真空管を差したままでは動かせないようになっている．単純だが効果的なフールプルーフに，改めて本機の設計のていねいさを感じた．　（末永昭二）